

# 社会貢献の取り組み

For The Future

## 外国人研修生の受け入れ

当社では、企業の社会的貢献の一環として、日本貿易振興機構（JETRO）、北九州国際技術協力協会（KITA）などの機関から毎年外国人研修生を受け入れ、研修生のニーズに沿った部門で技術研修を行っています。また、KITAへは、当社社員を教育訓練講座の講師として派遣し、当社での技術研修と合わせ、国際技術協力に貢献しています。

多くの外国人研修生を定期的に受け入れることは、グローバル化に対応した企業風土作りにも大いに役立っています。

研修生が実際の業務に従事する中では、言葉や文化の違いといった様々な問題にぶつかることも多々ありますが、多くの研修生から「自らの成長を感じ取り、充実した研修期間を過ごすことができた」との感想をいただいています。

今後も、CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の観点と、当社人材のグローバル化に資するために、外国人研修生の積極的な受け入れを実施していきます。

■お問合せ先：人事総務部 人材開発部  
Tel 093-645-8808 Fax 093-645-8831

### ◆2005年度外国人研修生受け入れ実績

運営機関	受入人数	受入部門
日本貿易振興機構	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット事業部</li> <li>開発研究所</li> <li>インバータ事業部</li> </ul>
北九州国際技術協力協会	81名	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット事業部</li> <li>インバータ事業部</li> <li>モーションコントロール事業部</li> <li>安川モートル(株) ほか</li> </ul>



日本貿易振興機構(JETRO)からの研修生受入



北九州国際技術協力協会(KITA)からの研修生受入

# 陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/index.htm> で公開しています。



▲九州実業団毎日駅伝で優勝のテープを切る立石選手

### 選手の声：

2年前にアンカーを任せられ、1分差を守れずに旭化成に逆転された事が頭にあっての今回は「絶対に逃げ切ってやる」という気持ちだけで走りました。途中何度も苦しいところがありましたが、沿道の皆様の応援に後押しされ最後まで気を抜くことなく走れました。

ついに念願の優勝をとることができて本当に良かったです。（立石 慎士）

駅伝が注目される秋冬、当社陸上部は最高の結果を出すことができました。

シーズン幕開けとなる九州一周駅伝では、当社の井上文男が監督をつとめる福岡県代表に4名の選手が出演し、福岡県は2年連続優勝を達成しました。

そして、ニューイヤー駅伝の地区予選となる九州実業団毎日駅伝では、中盤まで古豪旭化成を相手に激しいデッドヒートを繰り広げ、創部32年で悲願の初優勝を達成しました。

また、ニューイヤー駅伝のリハーサルを目的に毎年出場している日田・中津駅伝では、2チーム出場で1、2位独占。10年連続優勝と記録を更新中です。

最大の目標であるニューイヤー駅伝

でも、2区飛松選手の14人ゴボウ抜き、5区立石選手、6区岡田選手、7区下森選手の区間賞に迫る走りでテレビ画面を賑わせて12年ぶりの7位入賞を達成しました。

更には成人の日恒例の朝日駅伝でも若手が成長を証明する走りで5位となり、満足のいく結果を残すことができました。

都道府県対抗男子駅伝でも、佐賀県代表（ふるさと制度）で出場した飛松選手が、最終区で激しい接戦を演じ、10人抜きの区間賞を獲得。チームを3位まで押し上げてゴールしました。この大会での飛松選手の活躍は、恒例のものとなりました。

今年はこの勢いで、更に活躍の場を広げていきたいと思っています。皆様のご近所で当社陸上部の選手が走る時は、ご声援よろしくお願いします。

### ◆2006年秋～2007年冬の主な戦績

日程	大会名	実績
2006年 11月3日～12日	九州一周駅伝	福岡県2年連続優勝に貢献。
11月 23日	九州実業団毎日駅伝	初優勝。3区間で区間賞。
12月 10日	日田・中津駅伝	2チーム出場で1、2位独占。10年連続優勝。
2007年 1月 1日	ニューイヤー駅伝	12年ぶりの7位入賞（37チーム出場） 2区飛松選手区間7位、5区立石選手区間4位、 6区岡田選手区間2位、7区下森選手区間3位。
1月 8日	朝日駅伝	5位
1月 21日	都道府県対抗	飛松選手（佐賀県代表）最終区で区間賞。